

## 県内で最も早い夏祭り 竹迫観音祭

### ドランジャーがぶつかり合い連結



竹迫上町、横町、下町の3町から引かれてきた『ドランジャー』と呼ばれる木製の台車を竹迫観音堂に奉納します。練習を重ねた小学生が横笛の演奏をし、それぞれの台車に載せられた大太鼓を若者が打ち鳴らしながら町中を進みます。3台の『ドランジャー』は、合流する交差点で激しくぶつかり合って連結され、竹迫観音堂の周りを回って奉納されます。ぶつかり合うところが見どころで、訪れた人は歓声を上げ大変盛り上がりました。

**あとがき** 4月よりLAに任命され、担当する竹迫地区の祭りを知りました。リポーターとして参加し、こんなに伝統ある祭りであることが初めてわかりました。当日は時折雨が降る中でありましたが、皆さんのハツツとした笑顔を見ることができ、元気をもらいました。露店も並び、祭り好きのお客さんもおられたのではないのでしょうか。子どもたちも楽しそうでした。地元の大塚俊一係長にいろいろ教えてもらいました。撮影は難しかったです。



竹迫観音祭は、約800年前から続く伝統ある祭りで合志市指定文化財です。農業、産業振興、交通安全を願い毎年7月の第2土曜日に行われています。「熊本県内で最も早い夏祭り」と言われています。今年は7月12日にあり、大勢の人でにぎわいました。



大塚係長親子とお友達です

リポーターの合志・LA 田尻直樹です。

## 地域農業を知り農家に感謝

### 菊池南中で「食育講座」



野菜の話をする  
光永店長

菊池市立菊池南中学校は6月27日、学校と地域が協働で行う地域参加・地域貢献活動を推進する授業「未来創造タイム」を開き、給食委員会の生徒約50人が参加しました。きくちのまんま菊池店の光永順子店長が菊池市の食・特産品について講話。生徒らは学校給食に使用されている地元産野菜や、郷土料理について学びました。光永店長は「農家さんが一生懸命育てた米や肉、野菜の命をいただいていることに感謝し、学校給食を食べてほしい」と話しました。給食委員会は地元産食材を使った献立の検討を7月から始め、12月の給食での提供を計画しているということです。

### 戸崎小で「田植え体験」



宮川さん



菊池市立戸崎小学校の4～6年生が6月26日、学校近くの水田で田植え体験をしました。総合的な学習の一環で毎年開いています。稲作ボランティアの宮川忠正さんが田植を指導。宮川さんは「お米は日本人の大切な主食。体験を通して食の大切さを感じ、農家になりたいと思う未来の担い手に期待したい」と笑顔で語り、児童らは「手で植えるのは大変だったけど楽しかった。農家さんに感謝してお米を食べたい」と元気に答えていました。